

坪生学区まちづくり推進委員会

委員長 掛谷 泰彦

（問合せ先） 084-947-2411（坪生公民館）

## 事業内容

- (1) 坪生ふれあい夏まつり（8月8日に予定し準備を進めるが中止）
- (2) つぼうふれ愛フェスティバル&防災訓練  
（11月8日に予定し準備を進めるが中止）
- (3) 自主防災に関する事業 自主防災訓練（11月8日に予定し準備を進めるが中止、各町内会単位にて防災訓練を行う）  
防災倉庫・防災機材の充実  
防災講習会（1月20日 坪生公民館 28人）
- (4) 広報誌発行および企画作成全般（年6回）×3、300枚 各戸配布
- (5) 福祉関連事業 生活支援事業「坪生きずな隊」発足（7月）
- (6) 環境衛生推進事業  
廃油回収（年4回 5月20日240ℓ, 8月19日360ℓ, 11月18日270ℓ, 2月17日300ℓ）  
環境美化運動（6月28日37人, 8月30日38人, 10月25日39人, 県道76号線路肩, 交差点への植栽活動）
- (7) 安心安全に関する事業 登下校見守りボランティア  
坪生学区防災マップの見直し, カラー版作成, 各戸配布（3, 200枚）
- (8) コミュニティー育成事業（通年23町内会）各町内会にて清掃活動
- (9) まちづくり推進委員会運営事業 運営のための連携会議の実施  
総会は書面評決にて決議・町内会の支援・各部会（広報部会, 安心・安全部会, 環境・衛生部会, 福祉部会, ふれあい部会  
まちづくり合同会議を計49回開催 316人）



【小学生の登下校見守り活動が福山東地区防犯連合会より表彰されました】



【生活支援事業 坪生きずな隊】



【防災講演会】

## 成果

コロナ禍の為、多くの行事が中止または縮小されたが、従来より半ば慣例となっていた内容の見直しが行われ、今後の活動に生かしていきたい。また、防災事業に力を入れ、災害時の対応をより分かりやすく、現実的なものに昇華するため、年度をまたぎながらではあるが更なる地域の防災計画の取り組みを強く進めることができた。来年度は各部会の活動も細分化されメンバーも増員されたことを受け、防災避難計画が作成される予定になっている。

## 課題

行事が軒並み中止になったことにより、各事業の進め方が以前のようにできるのか、又、再開の方向性や新規立ち上げ等、難しくなった一面がある。人が集まらない中でもできることを模索していくことと、各役員、委員の人材確保も大きな課題となりうる。

## 課題解決にむけて

2021年度は住民学習にて学区行事の進め方のアンケートを実施する予定。住民1人1人の思いを参考に、誰もが楽しく住みよいまちづくりを続けていけるよう、各事業内容の見直しを進めている段階である。

## 「住みよいまち」をめざし、探求する、坪生学区のまちづくり

### 坪生学区オリジナル！町内会ごとに細分化した防災マップが完成！

坪生学区まちづくり推進委員会安心・安全部会が主体となり、防災マップの見直しが行われ、県、市から出された危険箇所と町内会からの意見をもとに地域独自の危険箇所を追加し、一時避難場所と重要施設を表わした坪生学区オリジナルの防災マップが完成しました。

学区全体のMAPだけでは必要な部分が小さくなり、見づらいとの意見から、町内会ごとに作成し、緊急時の避難経路を分かりやすくするように工夫しました。又、いつでも見られるところに貼ってもらう為、サイズもA3サイズにしました。

2021年度はこの防災マップを基に、各町内会で防災避難計画を作成し、より防災に強化した学区のまちづくり事業を行います。



【坪生学区全体の防災MAP】



【各町内会の防災MAP】

### 防災倉庫の内容の整備も行いました。

2020年12月に、福山市自主防災組織活動補助金を活用し、防災倉庫が新設され、まちづくり推進委員会安心・安全部会が防災倉庫の内容を再確認しました。災害時等に必要なものがすぐに活用できるよう、物品の配置場所を決め、誰もが分かるように管理の仕方を見直し、内容の整備を行いました。又、坪生学区の方で町内会、団体レベルであればいつでも借用できる体制が整っています。



【新設された防災倉庫】



内容の見直しと  
整頓をしました！



### 生活支援事業、坪生きずな隊の発足！

高齢者のちょっとした困りごとを地域の支え合いの中で解決できないか？という思いで坪生学区まちづくり推進委員会福祉部会が2020年度7月に生活支援事業「坪生きずな隊」を立ちあげました。

活動内容は坪生学区在住で75歳以上の高齢者世帯の庭の草取りや植木の剪定に限定していますが、支援を必要としている方から多数の問い合わせがあり、今年度30件以上の依頼がありました。



【坪生きずな隊の皆さん】



【ごみステーションの  
ポスター掲出】

コロナ禍でのスタートということもあり、不安なことも沢山ありましたが、坪生きずな隊オリジナルジャンパーを作成し、各町内会のごみステーションへのポスター掲示による周知などにも力を入れ、又、地域包括支援センター坪生や民生委員との連携を行うなど、工夫と模索をしながら、「まずは、やってみよう！」の前向きな気持ちで30代から70代までの15人の隊員が日々挑戦をしています。

高齢者の心の支えや交流を深めるきっかけづくりとなり、地域ニーズに合った活動内容が住民から広く支持されています。



【活動の様子】